

明神館などに認証状

国際グリーンキーで授与式

環境対策が叫ばれるなか、宿泊施設などを対象



とした国際グリーンキー事業として注目を浴びる「グリーンキー」（認証団体＝国際NGO・FIEEジャパン、伊藤正博子代表理事）の認証式が15日、東京都渋谷区のデン

マーク大使館で開かれた。日本で初めて認定を受けることとなった「明神館」（長野・那須温泉）など3施設の代表らは、フランスのミカエル・ス

キョル・メルビン・駐日デンマーク大使から認証状を受け取り、環境対策の深化や普及に向け気持ちを新たにしていた。今回認証を受けたのは、約20年前から無農薬

野菜の使用やコジエネレーション（熱電併給）の導入などを行ってきた明神館のほか、施設の建て替えを契機にオール電化を導入するなど、ハード面の整備にも取り組んだ

「ホテルリッチ&ガーデン酒田」（山形・酒田、熊谷芳則社長）、無農薬素材の利用や部屋へのテレビ不設置など「ちよっ

さ」をコンセプトにした「もてなしを行っている。『銀座吉水』（東京・銀座、中川誼美代表）の3施設。グリーンキー発祥の地がデンマークであることから、メルビン大使が認証状を手渡し、その努力を称えた。

認証審査委員の1人として3施設を回った、環境コンサルタントの小寺座吉水は、同館の施設コ

ンセプトとエコロジカルな取り組みが評判を呼び、多くの外国人客が訪れているという。また認証先進国であるフランスやオランダではすでにグリーンキーが宿泊施設を選定際の基準の1つとなっていることなどから、

グリーンキーは外国人客誘客にも有効なアピールポイントとなる可能性が高い。

今後3年間で国内の認定施設を100施設まで増やすことを目標としており、今後日本でもグリーンキーを目にする機会が増えそうだ。【小林茉莉】

「認証を受けた明神館の齊藤忠政同館専務は、『旅館ホテルでは、『エコはお金がかかる』という認識が強く、積極的に取り組もうとしないところが多いが、実際は人の意識によるところが大きい。エコは従業員と一緒に楽しく取り組めるもの。今後は長野県内の施設にたくさん取り組んでもらい、『エコな長野』をアピールできるようにしていければ』と抱負を語った。

同じく認証を受けた銀座吉水は、同館の施設コ

ンセプトとエコロジカルな取り組みが評判を呼び、多くの外国人客が訪れているという。また認証先進国であるフランスやオランダではすでにグリーンキーが宿泊施設を選定際の基準の1つとなっていることなどから、

今後3年間で国内の認定施設を100施設まで増やすことを目標としており、今後日本でもグリーンキーを目にする機会が増えそうだ。【小林茉莉】

今後3年間で国内の認定施設を100施設まで増やすことを目標としており、今後日本でもグリーンキーを目にする機会が増えそうだ。【小林茉莉】